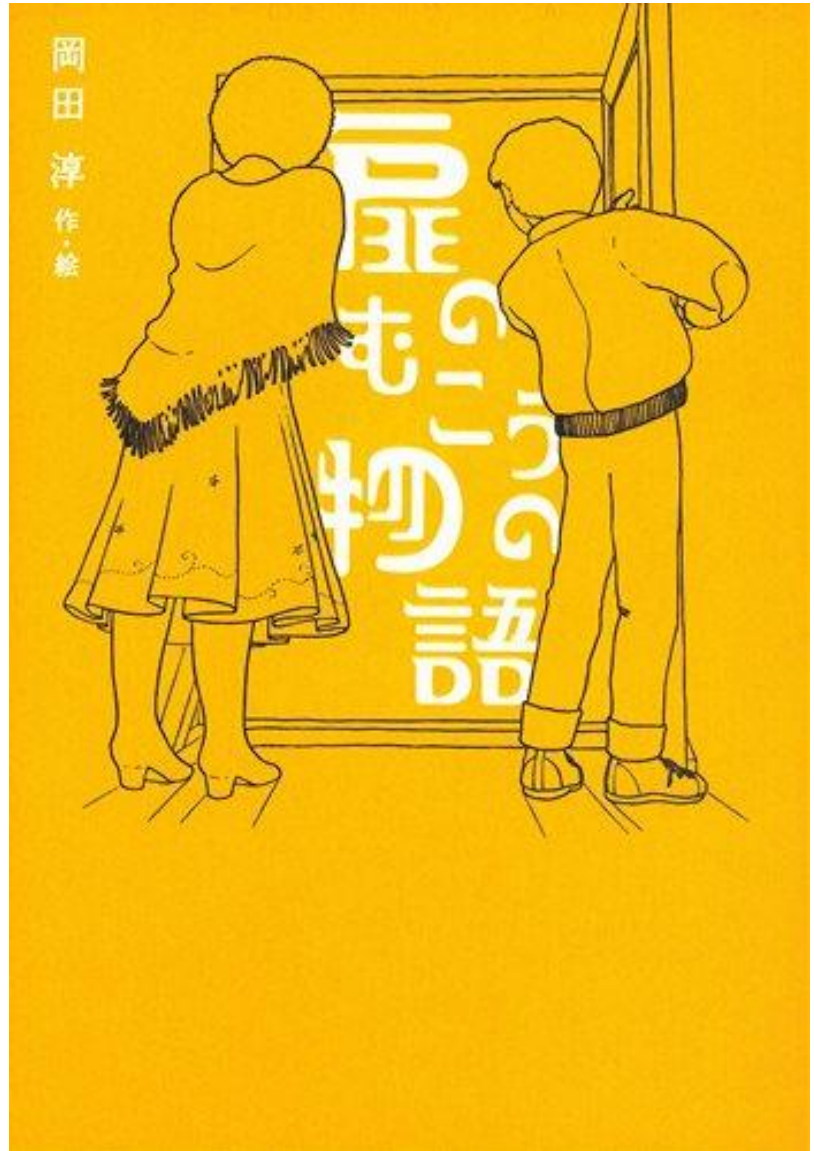


しもさわせんせい
下澤先生がおすすめしたい一冊！
いっさつ

とびら
ものがたり
『扉のむこうの物語』

岡田淳／作 理論社



あらすじ
主人公の少年が小学校の中で、小学校にふらっときていた喫茶店のママと二人で閉じ込められてしまう。学校の中で見つけてたひらがなの五十音が記された器具を見つけ、その器具を使いお話をつくると、そのお話の世界に入り込んでしまう・・・

おすすめポイント

扉の向こうの世界は、心とつながった（と解釈できる）不思議な世界です。喫茶店のママにもあつと驚く秘密があったり。

小学生のころ、この本が大好きで何度も読みました。この本を読んでからは学校という場所が特別な場所なんだと思うようになりました。主人公のように物語をつくって遊んでいました。

作者の岡田さんは「放課後の時間割」「こそあど森の物語」などわくわくするお話をたくさん書かれています。そちらもお勧めです。昭和から平成の初頭ごろに小学生だった同世代の保護者の方にも読んでほしいノスタルジックな物語です。